

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

MSW ニュース 6月号

2016年6月1日発行

事務局：大浜第一病院

〒902-8571 那覇市天久 1000 番地

TEL (098) 866 - 5171

FAX (098) 864 - 1874

E-mail t-matayosi@ns.omotokai.jp

編集：小橋川 聡（牧港中央病院）

友寄 彩

会長挨拶

那覇市立病院 樋口 美智子

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会が、平成24年6月1日に一般社団法人化されてから4年が過ぎました。5年目の平成28年度は、初めて沖縄県から「入退院支援連携デザイン事業」の委託を受けることになりました。事業の目的・内容は、地域包括ケアシステム構築に資する人材育成・資質向上です。関係機関・職種から、特に在宅医療移行に関わる中心的人材として医療ソーシャルワーカーが認められ、期待されていると捉えられる一方、現状としては、在宅医療移行に関する機関内外の体制改善や業務の標準化が喫緊の課題であると認識されていると考えています。

平成30年4月からは全ての市町村で在宅医療・介護連携推進事業が実施されます。医療ソーシャルワーカーは、このような社会情勢を見据えつつ、所属する医療機関が地域で担う機能を認識し、医療チームの一員として、広い視野と専門的知識・技術・態度を備え、個別の生活問題をアセスメントする力、また患者さんやご家族の権利を擁護し、他職種や関係機関と協働する力をさらに強化し、質を高めなければなりません。そのために、退院支援に関わる根拠が医療法にあり、業務指針に示されたく退院援助〈やく地域活動〉を改めて確認しながら、いつでも何処でも質の高い入退院支援が提供できるよう標準化と均てん化を目指します。

また、病や障害・老いを抱えながら、何処でどのように生活するかを、患者さん自身が自己決定できるよう支援することが、今後ますます重要になると考えます。これまで定例研修会として実施していた方法や内容を、経験年数に即した専門性の高い生涯研修体制として見直しを行い、体系化して整備します。

また、医療ソーシャルワーカーの業務が客観的なデータに基づき評価されるよう、業務統計の改善や臨床指標項目の検討等を行うとともに、実践研究に積極的に取り組む会員を支援します。

さらに、一般社団法人として医療社会福祉分野における普及啓発活動や、沖縄県ソーシャルワーカー協議会加盟団体として、関係団体等と協働し社会活動を行います。

社会情勢はますます厳しくなり、保健・医療・福祉・介護の制度も、住民へ経済的負担を求め

CONTENTS

会長挨拶	1
総会、新任者オリエンテーション&座談会 報告2～3	
今月のトピック	4
理事会議事録	5～7
はいさいワーク	7
新入会員	8
お知らせ（定例会、めだかの学校等）	9
コラム・編集後記	10

る傾向になっています。患者さんやご家族、他職種から信頼される実践を積み重ねるとともに、自らの専門性を積極的に様々な形で表現することが、ますます重要になってくると考えます。メゾ・マクロレベルにも視野を拡げ、会員の皆さんが多様な実践に取り組み、協会としてバックアップしていきますので、積極的な協会活動への参加をお願いいたします。



総会報告

2016年5月11日、研修会と通常総会に参加して



中部協同病院 鶴淵 太郎

最初に、急性期・回復期・包括ケア・療養型の四つの病棟の各担当者から、各病棟での今回の診療報酬改定を踏まえた報告会が行われました。

急性期分野では色々お話が出てましたが、私が一番気になるのはやはり、『退院支援加算』でした。上記四つの病棟で算定できる項目です。より点数の高い加算1を取るのには条件が厳しいと感じましたが、より良い患者・家族さん支援のため、収益アップのため、専門性を高めるため、算定とっていきたいと思いました。

回復期発表では、他の病院から「アウトカム評価によって、重症もしくは軽傷患者さんを受入してもらえなくなるのでは」とさっそく問い合わせがあったようで、それに対して、「診療報酬のために必要な医療を捻じ曲げる必要はない」と、とある方のお話を引用しておりました。本当に必要な医療、リハビリを提供していくという心構えがあり、とても頼もしく感じました。

地域包括ケアの発表では、今は急性期病院に移った新垣 MSW から行われ、病名の制限なく受入願うことができる地域包括ケア病棟がいととても貴重と感じているとお話がありました。もっと病棟が各地域に増えてもらえればと、日当点も約3000点とオイシイと笑いを誘っておりました。

療養型病院の発表が今回の研修会の発表の中で一番おどろきました。今後の療養型病院のあり方を、現在議論が行われているとのことで、今後の改定の際のポイントを押さえるため、逐次情報を追っていく必要性を感じました。

通常総会は肅々とすすめられておりました。

樋口会長の挨拶、平成27年度の事業報告、平成28年度の事業計画が発表され滞り無く総会は終了しました。



平成28年度

初任者オリエンテーション&座談会 報告

報告者 北中城若松病院

香村真範

5月14日(土)の午後、北中城若松病院にて行われた「初任者オリエンテーション&座談会」について報告します。

当日は22名(内、老健2名)、経験1ヶ月目～4年目の参加がありました。10名程度の参加があればOKかな～と思っていましたが、倍以上の参加にうれしい限りです。オリエンテーションでは、協会入会の案内や初任者研修のお知らせと講師紹介を行いました。(講師プロフィール面白かったですね!)

メインの座談会では、「若い先輩MSWと初任者の皆さんで語ろう!」をテーマに開きましたが、徳盛さん(ハートライフ病院)が先輩面して話していたとか!?(笑)

それを友寄さん(牧港中央病院)がしっかりフォローしていたことでしょう。

*私は座談会の現場にいませんので推測です。徳盛さん間違っていたらゴメンね～(笑)

また、私の準備不足もあり、少しかた～い雰囲気でも進めてしまったことは反省です。



(オリエンテーション)



(座談会の前半)

座談会の後半には、みなさん和気藹々と話したり、名刺交換をしたりと、お見合いパーティーのように盛り上がっていましたね!仕事を少し忘れて、ストレスや不安から離れることができたり、職場や上司の愚痴を話したりできたでしょうか?

研修部では、今年度より「初任者研修」を充実させるべく、別紙(初任者研修要綱)のように準備をしています。この研修には改めて申込みが必要になりますので、是非申込みください!オリエンテーションへ参加していない方でも研修参加OKです! 実践に必要な知識や技術を学べるよう、講師陣も一緒に頑張りますのでご参加ください!



<初任者研修 問い合わせ先>

北中城若松病院
TEL: 935-2277
香村真範

**協会役員、講師の皆さまの参加も
ありがとうございました!**

今月のトピック



業務分析について

中頭病院 秦 克之

新しい診療報酬改定が導入されて約 1 ヶ月経過しましたが、各病院それぞれでんやわんやしているか
と思います。

診療報酬での働き方も重要ですが、それ以前にそもそもMSWの業務量はどうなっているのか、当院
のMSW業務についてデータ分析を現在遂行中です。

4月のデータが算出してみると大変興味深いデータでしたので報告を兼ねて今回の記事にしてみたい
と思います。

4月のケース分析

新規ケース 295 件（4月に新規で依頼された件数） 中頭では6人体制ですので1人あたり49.1件
前月以前から継続している件数を含む4月での実件数(これが実稼働数です)556件 1人あたり92.6
件

4月終結は 267 件 1人あたり 44.5 件

調整数 891 (面談・電話・報告を含む) 内面談率 461 件 (51%) 全体の51%が面接です

ここからが興味深いですが

全ケースに対する調整数 1.59 件 (1 ケースに対して 1 回半の調整)

ケースに対する面談率 0.826 件 (1 ケースに対して 0.8 回の面談)

現在当院のMSWは自分のケースに対して約 1 回または 2 回の調整を行い、平均 1 回または 1 回も
面談していないケースが存在するということです。

その上でMSWのどれくらい超過して仕事しているといえれば 1 人につき平均 43 時間あまり超過して
いるということがわかりました。

よって業務の動きを分析すると当院でのMSWは

月 49 人ほどの新規を受け、先月からのケースを引き継ぎながら全体で 92 件のケースを担当し、
148 回 (1 日 24.6 件) の調整、内 76 回の面接 (1 日 3.8 回) で毎月 44 件のケースを終結させて
いることがわかります。

ただしそのケースのほとんどは 1 回~2 回ほどの調整で面談は 1 ケースにつき約 1 回 (面談 0 回も
あり!) しか行えず

それでも月 48 時間 (実稼働を 20 日と計算すると 1 日 2 時間半近く) の残業を行わないと業務は
回せないという現状があります。

正直まったく笑えない数字ですが、良くも悪くもこれが当院の現実です。(前年度の分析や退院支援
の分析もありますが今回は割愛します)

これから診療報酬の改正の動きでMSWの働きが課題になっていますが、現在の人的資源はどのよう
になっているのか、それをまず分析することも大切です。その上で数少ない人的資源を拡大するために
働きかけるのか、または少ない資源の中で戦い方を変えるのか戦略を練ることも重要です。そのための
データ収集も重要なポイントになると思います。



理事会議事録

平成28年5月理事会議事録

日時：平成28年5月16日（月）18：30～21：00

場所：沖縄県総合福祉センター 西棟2階ボランティア小規模団体室

参加者：樋口、島袋、當銘（司会）、新垣、香村、安慶名（書記）、伊禮

1、研修部：香村真範（若松病院）

■5月の予定

- ・めだかの学校臨時活動の案内

日時：5月25日（水）19時から20時半

場所：ハートライフクリニック2階会議室

内容：今年度活動計画

（各地の連絡掛）

中部：ハートライフ病院 川満

中部病院 鶴淵

南部：南部徳洲会病院 比嘉

沖縄協同病院 玉那覇

■6月の予定

- ・めだかの学校 定例活動

日時：6月15日（水）19時～

場所、内容は未定

*定例のめだかの学校は、毎月第3水曜日を予定。

- ・初任者研修

オリエンテーション 5月14日終了 22名参加がありました。

1回目

日時：平成28年6月25日（土）13時半受付 14時開始

会場：北中城若松病院 3階講堂

内容：「医療保険制度改革の変遷とMSWの役割」「医療ソーシャルワーク価値・倫理」
「実践に必要な制度①生活保護」

- ・めだかの放課後

日時：6月16日（木）19時から21時

場所：中頭病院 2階会議室

内容：確認中

- ・OGSV

日時：6月8日（水）18時半から20時

場所：那覇市立病院

内容：初任者研修講師予演会「生活保護について」當銘さん



2、社会活動部：當銘由香（大浜第一病院）代読

富樫先生出版記念講演会

日時：6月11日（土）

時間：14時～16時（13時半受付）

場所：ゆいホール

参加費：500円

対象者：MSW、ケアマネ

ケアマネ協会との共催ではなく、MSW協会単独主催に



3、広報部：仲地貴弘（豊見城中央病院）

・今年度からホームページ管理業者がリ्यूズシステムから変更。5月から新しい管理業者と契約。契約済み次第、災害関係、総会内容を更新する。

・今年度から、広報が毎月のお知らせ、ニュースの印刷、発行を検討

6月のニュース担当

牧港中央病院 小橋川さん

4、会長：樋口美智子（那覇市立病院）

■熊本災害支援

佐賀県協会会長が事務局になって支援進めている。日本協会が行った東日本震災の支援内容に準じて熊本の支援をしている。沖縄県MSW協会ホームページにも内容アップしている。

・具体的なMSW派遣要請や、転院受入れ要請があれば対応していく

社会活動部が中心に沖縄県協会が情報集約して発信していく。

■ケアマネ協会から「専門研修課程Ⅰ」研修6月4日（土）のファシリテーターを4人MSW協会から選出してほしい。

當銘、安慶名、石郷岡、伊礼参加予定

■県委託事業「入退院支援連携デザイン」について

・委託費380万円あまり、通帳出納管理は県協会費管理とは別で管理。大浜第二病院か沖縄協同病院で担当を検討。

・県ケアマネ協会、那覇市ケアマネ協会、アンケート配布済み。各医療圏域のケアマネ協会でもアンケート配布していく。事業開始時と研修後に同じアンケート取る予定。

・「入退院支援連携デザイン事業」行動計画表参照（8、9、10）は次年度開始予定。

・ハンドブックは市民向けを予定していたが、標準的な退院支援が確立できるように、まずは退院支援をするスタッフを対象に作成していく。

・ケアマネプランの第一表とMSWサマリーの内容がリンクするように、項目を検討。様式は問わないが、項目は押さえていく。

・組織的標準化、均てん化を図る

・アンケート調査、研究の倫理的配慮の確認は、どこに図るか検討していく。

・各圏域実務者研修の取りまとめ役

北部：山城つきえ（勝山病院）

中部：秦克之（中頭病院）

南部：仲地貴弘（豊見城中央病院）

宮古：當銘由香（大浜第一病院）

八重山：望月祥子（ハートライフ病院）

各圏域リーダー（MSW、ケアマネ、訪問看護、の3職種。他退院支援ナース等）を選出し、研修内容を詰めていく。5圏域の取りまとめ役で、5月に一度全体会議を持つ。

■沖縄県ソーシャルワーカー協議会事務所代について

- ・1協会25000円ずつ。

次回開催 6月20日（月）18時半～

県総合福祉センター 西棟2階 ボランティア小規模団体室

司会：樋口 書記：奥平 連絡係：島袋

はいさいワーク No.79

(2016/ 5/16)

1. MSW 求人情報

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院 医療ソーシャルワーカー

採用人数：1名

業務内容：医療ソーシャルワーカーとしての職務全般（法人内にて移動あり）

雇用形態：常勤（正職員）

勤務時間：月～金 8：30～17：30 土 8：30～12：30（交代勤務） 週休2日

日・祝日・年末年始は休日

応募資格：社会福祉士の国家資格を保持していること

採用時期：平成28年9月頃を予定（応相談）

給与：当法人規定による

賞与あり

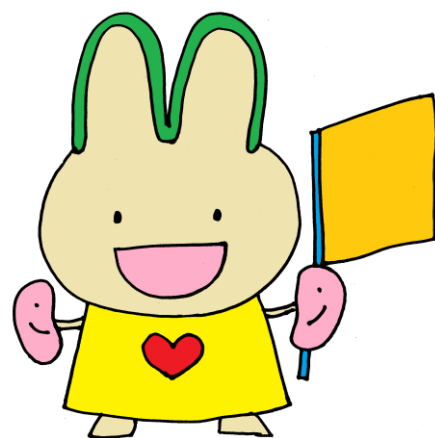
資格手当・通勤手当あり

年金・保険：厚生年金・協会けんぽ・雇用保険・労災保険

選考方法：書類選考及び面接

問い合わせ先：ハートライフ病院 TEL098-895-3255

地域医療連携室 医療ソーシャルワーカー 望月



新入会員

嶺井第一病院より

☆井上 美枝子さん

☆知念 園子さん

☆又吉 恵理さん



お知らせ

研修部だより 平成 28 年 6 月の予定

初任者研修

— 1 回目 —

日時：平成 28 年 6 月 25 日（土） 13：30 受付 14：00 開始

会場：北中城若松病院 3F 講堂

内容：『医療制度改革の変遷と MSW 業務』

～社会背景を学び、より広い視野で業務を理解し実践につなげる～

樋口美智子（那覇市立病院）

病院）

『医療ソーシャルワーク価値・倫理』

島袋恭子（那覇市立病院）

『実践に必要な制度 ①生活保護』

～制度を理解し、より実践的に MSW としての活動ができるようにする～

當銘由香（大浜第一病院）

病院）

めだかの学校

日時：6月15日（水） 19：00～

会場：ハートライフ病院 か ハートライフクリニック

内容：アセスメントの方法、情報提供（紹介）の仕方について

めだかの放課後

日時：6月16日（木） 19：00～

会場：中頭病院

内容：うるま市在介との勉強報告会

第二回合宿の日程調整

全国大会報告 他・・・



OGSV

日時：6月8日（水） 18：30～20：00

場所：那覇那覇市立病院

内容：初任者研修 講師予演会 「生活保護について」 當銘さん



コラム

『先輩相談員のにやり』

若い相談員のAさんによるケース報告。テーマは「希望転帰先が異なる本人家族への支援」
一通りケースの報告を終えたAさんは最後に「自己決定とラポール形成で退院支援ができた！」と締めくくりました。

先輩「誰の自己決定で、誰と誰のラポール形成ができたの？」

Aさん「私は何もしていません！本人と家族が勝手に関係を修復して、本人が施設入所を納得しました」
……先輩（にやり）

別の先輩「ただのミラクルなケースだったの？」

Aさん「10回くらい面談はしました」……別の先輩（にやり）

また別の先輩「本当に何もなかったの？どんな話をした？」

Aさん「家族はカンファではあまり多くは話さず、カンファ後の私との面談でこれまでの生活が大変だったことを語ってくれました。私はこの内容をチームに発信し方向性を検討しました。また本人は入院して家族と離れて過ごし、それでも毎日来る娘に感謝するようになっていきました。私は入所後の自宅への週末外泊を提案し、本人家族共に施設入所に納得されました」
……先輩一同にやつく程度では抑えきれず爆笑。

自分のソーシャルワークに気づくAさん。その後は、質問攻めではなく優しく優しく何がソーシャルワークだったのかを教える先輩方でした！（笑）

ソーシャルワークの理念や理論をどう業務に落とし込むかは難しく考えがちですが、日頃の業務のどの部分がソーシャルワークなのかを考えた時、以外にしっかりやっているものですよ。その出来事とソーシャルワークを照らし合わせる「振り返り」の繰り返しが私達の知識・技術・自信に繋がるのではないでしょか。

編集後記

楽しかったゴールデンウィークも終わっちゃいましたね。

洗濯物がなかなか乾かず、自宅とコインランドリーを往復する日々が続いていますが、そろそろ梅雨は明けそう！？な予感！！

お忙しい中、快く原稿を引き受けてくれた皆様ありがとうございました！

イラストは毎回恒例、牧港中央病院キャラクター『まっきー』でお送りしました～。

